

1. 日時：平成 30 年 2 月 20 日（火）19：00～22:00
2. 場所：埼玉県理学療法士会 上尾事務室
3. 出席理事：南本浩之、岡持利亘、細井俊希、水田宗達、渡邊雅恵、本宮光信、矢野秀典
田口孝行、原田慎一、阿久澤直樹、瀧上晃弘、杉浦恵介、高宮尚之、大沼貴広
出席監事：前園徹、清宮清美
欠席理事：須藤京子
出席部長・委員長・エリア長：山田義憲、塚田陽一
出席部員：山崎大、斎藤雄介、清水恭兵（書記）

《継続審議事項》

特になし

《計画外審議事項》

【教育局】「認定・専門研修部 部長の交代」について

①審議事項

教育局認定・専門研修部 部長の交代についてご審議よろしくお願いいたします。

②決定事項

承認

③審議経過

特になし

【教育局】『新プロ単位「C-6 症例発表」の単位認定』

①審議事項

県士会会員より、以下の学会での発表について、新プロ「C-6 症例発表」の単位認定の申請があった。

学会名：「日本ノルディック・ウォーク学会

学会大会名：「第 5 回日本ノルディック・ウォーク大会」

日時：2016 年 9 月 16 日

②決定事項

承認

③審議経過

岡持：日本でないとだめなのか。全国はだめなのか。

田口：全国でも可能。今回提出した資料の学会名がたまたま頭に来ているものを提出した。

全国と最初につくものも多くある。

南本：今回の協議事項に関して 2 点ある。

①C6 の認定に対してご意見・ご質問はあるか？

矢野：今回に関しては却下になるのか？

田口：却下になります。

南本：本件の学会は医師などがベースで行われていて査読などもしっかりされている。日本学術会議団体に登録するハードルなどはなにかあるか？

田口：詳細は調べていない。

南本：例えば会員数とかC6認定とは別個のハードルがあるのか？

原田：日本徒手理学療法学会の事務を行なっている。私自身も登録をしようと申請したが却下された経験がある。条件としては、研究者の半数以上がいる事が条件。何年か前まではそこまで厳しくなかったが、数年前からは厳しくなっている。この条件1点をクリアしていないと認められなくなってきている。

田口：今回はあくまでこういう基準ならどうかという提案がいただきたい。なにか他に案があれば。

阿久澤：協会の方の規定がある。協会のHPを辿っていくと明確に同様の記載がなされているため、それに準ずる形で県士会も行っていくという形で相違はないと思う。

南本：生涯学習担当者会議に参加し、同様にC6認定の基準について協議が挙がっていたが、各県にて基準はばらばらであった。最終的には理事会で決定している。理事会で規定を決めることが大事だと思う。

高宮：個人的にPT協会に確認。①定款役員名簿が公になっている事、②事務局が明記され対応できる事、③参加の証明書類が発行されている事、上記3点が明らかになっているものであれば、PT協会に準じて承認する事ができるのではないかと。PT協会の専門認定の備考欄に記載されているもの。

田口：参考になる。新プロなので、これにこだわってしまってもと思ったが。

南本：その辺は規定に設けて判断していく。今回もその規定に設けて判断していくようにする。HPにも設けて会員にも周知していくようにする。

田口：文言などが完成したら、サイボウズにて確認いただきたい。

細井：申請するにはどういう書類が必要で、どういう処理をしていくのが必要なのかがわかるようにすればいいのではないかと。

田口：新プロに対する問い合わせが非常に多い。問い合わせを取りまとめてQ&Aなどにしていきたい。

【広報局】『施設検索システム(リハビリテーションマップ)追加予算』について

①審議事項

3士会合同の事業となる施設検索システム(リハビリテーションマップ)の作成を、PT士会側では会長主導のもと、事業局高齢者福祉部・小児福祉部、広報局インターネット管理部で進めている。初期システムの概要が固まり、予算が明確になった。今回平成29年度中の支払いを行いたく、追加予算審議を願いたい。

②決定事項

承認

③審議経過

矢野：POSの割合は会員数か？

南本：会員数によって比率を変えている。今年度はお金の規模を30（PT）対10（OT）対3（ST）としている。来年度も同様に比率になる。

田口：会員数はそれでいいと思う。リハビリテーションマップのメリットは同じ割合でいいのか？一般の人がみて行う場合は比率は同じになるのではないのか。会員が使うのならその比率でいいと思うが。

南本：3団体で一つのことをやろうしているため、事業として見たときは一つの財布からでているため。財務の方は特に問題はないか。

本宮：問題ない。

【第26回埼玉県理学療法学会】「第26回埼玉県理学療法学会における補正予算依頼」について

①審議事項

第26回埼玉県理学療法学会における当初予算額について、下記のとおり要件を整備することになり、計画外審議事項として「第26回埼玉県理学療法学会における補正予算依頼」のご審議を願いたい。

②決定事項

承認

③審議経過

田口：去年の学会の決算は参考までにどのくらいだったのか？また、何人参加したのか。

清宮：去年とは会場が違い。

南本：去年までは小ホールだけだったが、今回からは大ホールも使用するようになった。規模を大きくしたので、そこまで参考にならない。また、学会システムもかなり増額している。

山田：去年の参加人数 642人 費用 388万円

田口：人数的にも今回多くなったということか。

岡持：ナイトセミナーは何人くらいだったか。

前園：合計で40～50人程度。かなり少なかった。来年度は行わない予定。

清宮：事前に補正予算を申請できたものがあつたのではないか。その点に関しては渡邊大会長には指導・次回の学会に向けて検討した方がいいのではないか。

《計画内審議事項》

【広報局】「写真素材の制作・管理費用の決済」について

①審議事項

原田広報局長より資料に基づき説明があつた。

②決定事項

プロカメラマンによる撮影 →承認

ドロップボックスを使用して写真を使用 → 再審議

③審議経過

水田：全部を含めた金額が資料に出ているものか。

原田：ユーザーの定義について最初は100名で考えていたが月額が高くなってしまう。そのためユーザー数を少なくしようと考えた。最小で3ユーザーであった。3ユーザーにしてそれを使い回すようにしていけば安価に抑えられると考えた。

岡持：違う機器から入ると違うユーザーがログインしていないか連絡はこないか？

原田：セキュリティのところを調べてみたところ×がついていたので、上手くいけばユーザーの使い回しはできるのではないかと考えている

山田：会の写真をみんなで共有して使いたいというものなのか。皆さんが本当に使用したいものなのか？

原田：可能であれば皆さんから写真をいただき広報などにしようしていきたい。

山田：双方にメリットがあった方がいいのでは？用途を明確にしてから運用にしていって方がいいのではないか？

南本：オンタイムで使用するのでなければ、DVDなどでもいいのではないのか？

阿久澤：写真の許可はどこまで使用できるのか？ 管理をする仕方はどうすればいいのか？HPなどにも載せた方がいいのか？

原田：後ろから写しているものに関しては口頭で確認し許可をもらっている。

阿久澤：研修会などでも写り込んでしまうことがあるので、この御時世どうなのか疑問に感じていた。

渡邊：会員であれば口頭でいいが、会員外の場合は署名をいただいている。

阿久澤：後頭部以外であれば必ず承諾書をとるようにした方がいいのか

渡邊：研修会のたびに承諾書を取らなくていいのではないのか。今までにも断りの連絡は来たことがない。承諾書ではなく口頭でいいのではないのか

阿久澤：口頭確認でいいかが共通認識がとれていれば大丈夫か。

高宮：公開講座など一般に人が出る場合は書類などはどうした方がいいのか？一度きちんと規定を決めた方がいいのではないのか？

南本：規定とともに広報の仕方と周知の仕方を合わせて再度検討した方がいいのではないのか？

山田：使用目的・用途が明確になれば宜しいのでは。

南本：ドロップボックスについて、区分けをした方がいいのか？一色にしてしまっているのか？今のご意見ですと、ドロップボックスの使い方をどうするか、運用をどうするかが不明確だという話になる。再度個別で審議を。

南本：プロカメラマンによる写真撮影については承認。ドロップボックスのビジネススタンダードを使用して写真を共有については再審議。

南本：ドロップボックスの使用に関しては再審議していただければと思います。

岡持：提案の内容は変えらなくて良い。運用の内容を明確にしていければいいのではないのか

原田：わかりました。

南本：ではサイボウズで審議依頼を。

【広報局】『データ管理システム開発』について

①審議事項

一般県民の皆様がご利用目的に合ったリハビリテーション実施施設を簡便に検索できる施設検索システム(リハビリテーションマップ)を、事業局高齢者福祉部・小児福祉部、広報局インターネット管理部で進めている。その検索システムを稼働するために必要な施設データに紐づく会員を管理し、総会 WEB システムなどと連携を図るデータ管理システムの決済について審議を願いたい。

②決定事項

承認

③審議経過

水田：これを導入することで、エクセルで管理していたものがこちらのデータで一括管理することができるのか？より正確なものが出来あがってくるのか？

原田：現在事務員さんが持っているものが古い会員データになっている。移動申請していない方を平井さんが修正している。後は、データの取り込みについてもシステムでできるようにしていきたい。

水田：データの取り込みは誰がやるのか？

原田：事務員さんがやる。

水田：それは年一回データを新しいものに更新していると思うが。

原田：はい。今までの協会のデータと今のデータを比較してみてどうなるのか確認していくようにする。

水田：協会の方もシステムを新しく更新していく。その時に管理がしっかりできるものになってくれれば良いと思う。平成32年に変わる。

南本：今、事務員さんが取ってくれているデータを変えるわけではない。協会の方で変更するのは個人の管理などを充実する。基本情報などのやれることはそんなに変わらない。

水田：正確なデータを一括でできるのであればかなり便利なのか

本宮：これは平成30年度の予算から入ってくるものなのか？運用していくものなのか？

原田：今年度から運用していくもの

【広報局】『HP レイアウト変更』について

①審議事項

現在、各部局で頂いた報告内容を HP に掲載する準備を進めている。その掲載内容については、①会員・一般県民・リハ関連職②各部局という分類ができる。しかし、現状の HP システム・レイアウトでは、会員向けページ下層の部・ブロック・委員会活動ページ内に混在された表示しかできないという問題がある。また、各部局の会員へのお知らせの掲載については、固定ページの古い内容を削除し新しい内容に更新するという運用よりも、新しい内容を次々に投稿するという運用が大半である。この場合、会員へのお知らせに投稿された内容は、各部局からの混在した内容で、次々に表示枠下方へ移動してしまうという問題がある。 これらを解決する為には、会員ページ内に各局のページを作成し、お知らせや報告内容を同時に表示ができるように変更したい。また、一般向け・リハ関連職向けページに報告内容が掲載できるようにシステム・レイアウト変更を検討しているので審議を願いたい。

②決定事項

承認

③協議事項

大沼：ブロックで分けていくと自分のブロックを探して参加している人もいる。中には他のブロックには参加したくないという人もいる。ブロックをまたいでも参加できるようにした方がいいのでは？

原田：最近問題になっているのが新人教育プログラムの変更について。学会・研修会案内にてある程度。各種手続は選んでいただく形で、運用していくようにする。後は、複数にまたがるものに関してはHP上で下にまとめて表示できるようにすればいいのか

田口：組織の形になってくるのか？

原田：部まで分けてしまうと大変なので、局と委員会とブロックくらい3つくらいに分けられればと思う。

田口：一般の会員だと見る所は研修会・学会などの閲覧が多いのではないのかと思われるのですが？

原田：トップにバナーがあるのでそこから入っていただくか、下に学会研修会という形で今までどおりに表示していく。

水田：ブロック分けが会員の方がわからない人もいるので、それが分かるようにもっと載せて欲しい。会員の方がどのブロックかを把握していない人が多いので、それがわかるようにしていただければと思います。

瀧上：ブロックで分かれているのか？エリアがわからない人がいたりする。

原田：地図ではなく、テキストでいいか？

南本：田口理事の言う通り一般の会員の方がみて、見にくいと事に対しては皆さんどう思うのか。

高宮：会員の方が検索する時に、研修会を検索する時はタイトルと場所などだけをみて選んでいることがほとんど。そう考えると今までどおりのかたちで行えた方がいいのでは。

南本：会員の人には局部のことは理解していただきたいが、なかなか難しい。そこをわかってもらえるように情報をどのように載せるのかも工夫でできるのではないのか？わかりやすいボタンを作っただけでいいかなと思います。

細井：職員募集もよく来るので、求人情報もひとつにまとめて貰えると。

原田：求人情報は求人情報で分けてある。

細井：求人は求人です別の枠を設けていただければと。下に行ってしまうのは避けて欲しい

岡持：市町村で理学療法士を雇用したいという相談がくるようになった。求人広告を出しているということを伝えた。1万円かかるということも伝えた。HPの求人の話があり市町村で雇用したいという情報が入って来た。

清宮：OTは無料でおこなっている。

水田：無料にしてしまうと怪しい企業からきたりすることもある。それは判別できない

岡持：行政が相手であれば悪い話ではないかと思う。

清宮：県リハは一万円払った。

渡邊：話が逸れてしまいますが、地域医療教育センターの人に、県士会からバナーに載せてくれないかと依頼がきた。検討しますとご返答した。

清宮：本来は金銭が発生する。

田口：今の提案は私がしました。医師会・薬剤師会・看護協会などは無料でバナーをつけて行なっている。今後も各学会でバナーを設けていければ医療の発展になるのでは。そこからみても理学療法士協会の方に飛べるようにしていればギブアンドテイクになるのではないかと思う。

南本；会場は無料か

田口：無料でないと行えない

南本：話を戻すが、HP の政策、レイアウトの変更は承認でいいか？

【広報局】「部員募集掲載について」

①審議事項

原田広報局長より資料に基づき説明があった。

②決定事項

承認

③協議事項：

岡持：求人の HP を変えたら求人が増えた。

渡邊：硬い文章だと厳しかったとのこと

岡持：これこそ写真をのせたい。得るものがあると思うので、こんな体験・経験ができますなど、一緒に盛り上げていただける PT さんいませんか？であったりをビジュアル宣伝をしていけるといいのでは？

田口：部員が少なくてもう少し欲しいというところは多いのではないか？HP をみて岡持副会長がおっしゃる通りに HP をみて少しやってみようかなと思えるものにしていけるといいのでは。

細井：新潟では HP でそのように運用して増えたという話を聞いた。

田口：指定管理者研修でも病院のなかでも新人管理者研修の一環として県士会の役員を広報の提示かパンフレットみたいなものがあればいい。何をやっているか結局わからずに口伝いで来ていただくよりは、HP をみて興味をもってきていただけるように出来るのが最善。

南本：新潟に確認してみる。そこで原田広報局長と繋がれば HP の運用方法などについて話していればいいのではないのか

原田：メルマガなどの活用なども話があがっていたので、それも合わせて行なっていければ。

南本：意見をまとめますとスポットの部員募集だけでなく、今の部の部員を含めて HP での広報をしていく。内容に関しては写真などを用いて行なっていく形でいいか？

原田：部員だけで判断してしまっているのか

南本：HP は皆さん確認していると思うので、皆さんで確認しながらその都度決めていく形で。

『平成 30 年度予算案について』

①審議事項

山田財政基盤検討委員長より資料に基づき説明がなされた。

②決定事項

承認

③協議事項

南本：まずは予算金額をしっかりと執行していただきたい。1割程度の前後であれば良いが、予算が大幅に変更されることがある場合は申請をしていただきたい。どうしても余るような予算計画をしている。今後ギリギリの予算で執行していただきたい。この余りを減らしていけると、支出赤字見込みがよくなるのではないのか。去年も 700 万程度の振れ幅がある。それは予算ではなくなってしまうので、再度検討していただきたい。事業的にも正確な予算で来年度の計画を立てていただきたい。地域リハビリテーションマップの調査作成費が 157 万だったが補正が認められたため、ここの金額が 20 万も必要なくなるので、そこだけ予算案を修正していただきたい。その予算を予備費にするか積立金に戻すのかなどを検討していただきたい。

山田：積立金に戻すというのと解約金をいくつか減額するという選択もできる。地域リハマニュアルの予算を 20 万に変更する。

矢野：研究推進部から研究支援費が 49 万で運営費が 0 万となっているので、研究支援費を 40 万と運営費が 9 万円に変更を。

大沼：東松山 28 万を市町村研修会費という項目に変更して 28 万円にしていきたい

山田：北部ブロックで行われる研修会としてまとめてしまいましたが、変更した方がいいのか？

大沼：東松山をなしで市町村 28 万という項目で変更していただきたい。

原田：部員の増員に伴いまして、PC の購入を検討していただきたい。再度審議に通した方がいいか。

南本：計画外審議で。

山田：これについては県土会の備品という形になるので、県土会の備品費として取り扱う形になる。

水田：リースで借りているものが何台かあるので、1 台貸出しますよ。

本宮：決算作成の依頼を案内しますので、期日厳守でお願いしたい。また、適切に使用していただきたい。余らないように予算案を建てて欲しい

南本：はやめに決算作業を願いたい。

《報告事項》

・『サイボウズ審議』

資料の基づき説明があった

・【事務局】水田副会長より

「埼玉県理学療法士会会員懇親会」について

水田：懇親会の参加人数が去年の半分程度になっている。ナイトセミナーが今回開催されたので、そちらに人数が寄ってしまうのではないかとということが懸念されていた。来年度もまた、ナイトセ

ミナーはやる意味があったのかも含めて検討したい。

前園：来年度はナイトセミナーはやらない。懇親会は今まで同様に早めに行うようにする。ナイトセミナーの運営になった人も懇親会に参加できなかった。

南本：地域・学会などはいいとしても、この報告書はふれておきたい。

《その他事項》

『岡持副会長より』

サイボウズ審議であげた研修会参加費について

①審議内容：

2/25日（日曜日） 業務推進部で復職支援に関する研修会を行う

案1 POSで県内の会員参加者は無料

案2 県士会員であれば1000円か非会員は5000円

2案出ているが、今回この場で承認を決められればと思います。

②決定事項：

この研修会に関して埼玉県会員であるPOSは参加費を無料にする事で承認

今回の研修は延期ということで承認

③協議事項：

清宮：ちなみに現在の参加者数は。

岡持：現状OT一人です。事業としては活動が厳しい。年度内にやる場合は

阿久澤：対象者を広報局などでも絞り過ぎてしまったのが、今の現状になったのか？今回に際して講師の方も準備していただいたのに何もしないのは申し訳ないのではないのか？昨年この事業は人数が集められていないので、原因分析などをしなければいけない。

渡邊：時間17時までではお母さんは厳しいのではないのか？13時までには終わらせるようにした方がいいのではないのか？短時間の方がいい。

清宮：休日になると早めに日程を決めなければいけないのではないのか。

渡邊：南部ブロックでは12～3人早めに募集して集まった。時期的な問題としてこの時期は風邪などの可能性があるとあまり子供たちを外には出したくないというお母様がたがいます。

阿久澤：事業を延期するべきなのか？現在募集がある1名の方を参加予定として頑張って募集をした方がいいのか

渡邊：このまま行ってもいいのか

清宮・岡持：必死には行っているがなかなか集まらないのが現状

阿久澤：開催に関しては相談するべきところに相談していく。

前園：かなり無理があるので、事業は延期した方がいい。参加の方・講師の方にも連絡するようにする。

細井：県会員を無料にするのであれば、毎回審議をしなければいけないのか

阿久澤：地域包括ケアに関しては一つ一つ理事会の審議で承認を得ている。それ以外のものに関しては毎回審議を上げなければいけない。

南本：一つ一つ確認していくことで問題がないか？→承認

渡邊：3団体POS 災害リハは無料でしているのはいいのか。災害は特に無料にすることをのせていないので同じにしてしまっているのでは

清宮：この時期なので規定の整理が必要。ここで審議するものではない

南本：細井さんの議題に関しては、毎回審議に出していただく形でお願いしたい。

【代議員選挙立候補について】

南本：補充をしていただきたいと協会からも言われている。まずは副会長の三名の方が立候補をし忘れてしまった。岡持さん・水田さん・渡邊さんの3名、また高倉先生もじきじきに連絡があったため推薦したいと考えているがどうか。

→異論なし

そうなると、残り二人立候補者が足りない。色々と話があり、この理事の方から出てしていただくか、代議員だった原先生・望月先生・河合先生にお願いをするかという話があるがどうか。それに加えて補欠も5人出さなければならない。

阿久澤：業務推進部は職能局で連盟との連携等も行なっている部局なので、私は立候補させていただければと思う。

→異論なし

清宮：年1回総会にいく事が主。協会の理事とか会長の選挙などもある。代議員にメールで反応しない方もいるとの事。選挙運営に本当に力を入れていただける方に立候補して欲しい。

岡持：大阪府は会員の声を総会に届けるために、県の代議員の人たちが集まって会員の声を総会に届けることを考えて行なっている。その辺も考えて行えるといいのでは。

清宮：だいが選挙に持ち込む都道府県が増えてきている。HPをみるとわかるが、以前は3～4つしかなかったが、現在は9つ程度動いている都道府県がでてきている。

南本：新潟の取り組みでは少し若い世代の人たちにも代議員にも出ていただくように県士会から募集している。

杉浦：立候補させていただきたい。

→異論なし

南本：補欠者：大沼先生・高宮先生・瀧上先生・原田先生・田口先生

立候補者：阿久澤先生・杉浦先生

細井：大阪にならう訳ではないが、会員の声をどのように届けていくかを今後検討していきたい。

【その他】

田口：理学療法士協会の講習会で4件だして補助金がでるのが2件、他の2件は全く補助金がでなかった。補助金が出たとしても6万円分。他の県士会では落ちた講習会にも県士会の方から補助金の6万円を出して行なっているところもあるとの事。他の研修会の情報も得たので検討できるのであれば、サイボウズの審議を通して正式に審議させていただきたい。今後多くなるようであれ

ば、再度検討していく。

細井：去年は不採用が1件あった。

田口：協会に問い合わせたら補助金はないが行ってくださいと連絡がきた。

清宮：補助金を出した場合は黒字にならないように計算していただきたい。

会長 _____ 印

監事 _____ 印

監事 _____ 印